

参考資料

秘

【一人制審判法ハンドブック】

H23年度版

東京都少年サッカー連盟・東京都中央大会用

- 配布までのスケジュール
- 2/27～運営委員会
- 3/7～審判員講習会
- 4/10～養成指導員講習会説明
- 5/21～審判員講習会実施
配布→各ブロック運営委員会

(財)東京都サッカー協会

東京都少年サッカー連盟・審判部

東京都少年サッカー連盟

秘

東京都中央大会・一人制審判法ハンドブック

H23年度版

※一人制審判の種類

- ・審判から見える見えなにかかわらず、選手はゲームの精神を尊重して全力でプレーする
- ・自己申告を含め、ゲームを盛り上げてスムーズに進めていく
- ・選手はプレーに集中し、判定に従って次のプレーに専念
- ・互いにリスペクトしてゲームを盛り立てていく（指導者、サポーターを含む）
- ・審判にとっては、ゲームを盛り立てていくことがゴールであり、審判力の向上につながる

※8人制競技



※1人制審判

※JFAハンドブック参照※

●一人制審判の目的

- ・選手と審判が相互にサッカーを愛する
- ・基準の共有（どのレベルでも同じ基準を共有する）

1) 選手 ⇒ 審判がわかるまでプレーする

- ・ファウルを誘って倒れたり、倒れながら審判を誘うようなことがない
- ・倒れてもすぐ起きてプレーを行う
- ・間違いを受け入れる ⇒ 審判が3人で行っても間違いはある

2) 審判 ⇒ ゲームを盛り立てる

- ・選手の意図を読む、攻め手誘う
- ・遅くとも正確なプレーと、小さくても正しいプレーを見逃さず
- ・選手と同じ目線でプレイング（サッカー一歩で判断）



●一人制審判の留意点

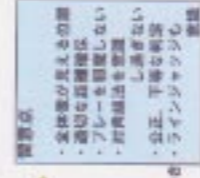
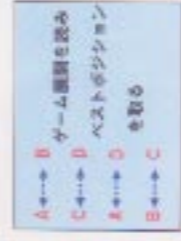
- ・選手のなれぶりやフットワークを尊重する
- ・関わしきりは厳格です...はいはいはしない
- ・公正・平等に一貫性ある判定
- ・次の争点の予測と、ポジションニング、動き
- ・選手のプレー及びプレイングを尊重しない
- ・競技者の体調、負傷への気づき、配慮

● 位置取りと動き方及び関係性

1. 全体選手



* 主要



広い視野の確保
・ 関係力ある位置移動

適切な
取組を
する
ために

重要な
ポイント
・ フィールド全体が拡張できる範囲及び視野を持つ
・ ペンaltyエリアを広く見渡す
・ 常に主眼とアイコンタクトを切る
・ 立っていても、座っていると同じ

2. キックオフ

・ 選手一人選手の位置
・ ゴールの位置、静止
・ ゴールは必ずゴール
・ 選手選手の出入り
・ キックオフの位置、静止
・ 選手選手の位置、静止



3. ゴールキック

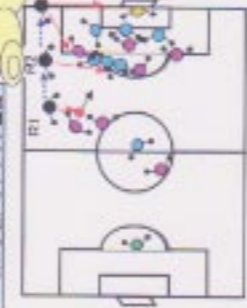
・ 選手選手の位置、静止
・ ゴールの位置、静止
・ ペンaltyエリアを広く見渡す
・ ゴールは必ずゴール
・ 選手選手の位置、静止



4. フリーキック

ゴールに近い位置

- ・ゴールの位置、停止
- ・蹴球の方向性はあまるか...
- ・守備側選手の壁の位置は...
- ・蹴球足のポジション、蹴球の蹴り出しの位置
- ・蹴球の蹴り出し、オフサイド監視



- ・ポイント、壁際選手エックタ
- ・蹴球は...飛び出し
- ・止めるか、面の内側をはずさず
- ・ヘンデルサイド、ゴールエリア内側
- ・蹴球に蹴球の蹴り出しの位置
- ・蹴球は、オフサイドゴールラインの位置
- ・蹴球は、蹴球に蹴球



ゴールに近い位置



- ・蹴球が蹴り出しの位置するときは、ヘンデルサイド

5. スローイン

ゴールに近い位置

- ・側面ポイント
- ・相手選手の位置は...
- ・スローインの位置は...
- ・蹴球蹴り出し
- ・蹴球の蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出しの位置



- ・ポイント、相手の位置は...
- ・蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し

ゴールに近い位置



- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し

- ・ポイント、相手の位置は...
- ・蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し
- ・蹴球蹴り出し、スローイン蹴球蹴り出し



6・コーナーキック

- ・ゴールの位置、停止
- ・蹴りの可成性はあるか・・・
- ・守備陣選手の陣の位置は・・・
- ・ゴール系のポジション争い
- ・ゴールラインの位置、距離に注意
- ・オフサイド位置、距離に注意

・この点、実際の戦術でもそう・・・
 ・陣の崩壊時、選手は交錯しない・・・
 ・ゴール前の争いこそは誰か
 ・守備陣選手のポジション関係
 ・オフサイド、陣形に注意
 ・ゴール系のポジション争い
 ・ゴールラインの位置、距離に注意
 ・オフサイド位置、距離に注意



・ゴールネットを
 見てから蹴ると
 ・リスカートの角度と
 距離に注意が必要

・ゴールラインはあくまで
 距離の目安として
 コールに注意すると、
 守備が楽になるし、
 蹴りの方向、距離と
 距離に注意すれば良い
 なら、ゴールに蹴りはいらない
 と思うが・・・

7・ペナルティキック

- ・ゴールの位置、停止
- ・ゴールの位置、蹴りの位置
- ・キックの位置、ゴールラインの位置、蹴りの位置
- ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
- ・陣形、キックの位置
- ・ゴールラインの位置、蹴りの位置



・キックの位置、蹴りの位置
 ・キックの位置、蹴りの位置
 ・ゴールの位置、蹴りの位置
 ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
 ・陣形、キックの位置
 ・ゴールラインの位置、蹴りの位置

・蹴りの位置、蹴りの位置
 ・ゴールの位置、蹴りの位置
 ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
 ・陣形、キックの位置
 ・ゴールラインの位置、蹴りの位置

8・ペナルティキックからのキック

- ・ゴールの位置、蹴りの位置
- ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
- ・キックの位置、ゴールラインの位置、蹴りの位置
- ・陣形、キックの位置
- ・ゴールラインの位置、蹴りの位置



・蹴りの位置、蹴りの位置
 ・ゴールの位置、蹴りの位置
 ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
 ・陣形、キックの位置
 ・ゴールラインの位置、蹴りの位置

・蹴りの位置、蹴りの位置
 ・ゴールの位置、蹴りの位置
 ・陣形選手の位置、陣形、蹴りの位置
 ・陣形、キックの位置
 ・ゴールラインの位置、蹴りの位置

秘

- 補助審判の役割と留意点
 - ・主審がその任務を履行することが出来なかった場合にその職務を行う
 - ・主審によって審判された、試合の後、中、後の見直し上の任務を担担する
 - ・他に負傷者が出る場合、治療を対応が必要となる
 - ・競技規則が正しく適用され、試合が継続されるよう援助する
 - ・ただし、ジャッジは行わない（不正手、不正審の役割）
 - ・アシスタントレフェリーが要する場合は、主審の指示に従い、その任務を履行する
 - ・交代の手続きが正しく行われるよう主審を援助する。特にゴールキーパーの交代については補助審判の責任において交代手続者を援助する
 - ・競技者の負傷状態、止動原因および用具不適合正後のフィールドへの再復帰については、主審に意見を述べるとともにスムーズな対応を行う
 - ・ベンチコントロールを常に監視し、禁止的な態度で対応する。なお、チーム忠告が責任ある態度で行われない場合、主審に通知する
 - ・試合の記録をとる（得点、ゴール、グリーンカードなど）・・・特に主審が見えていないかった不正行為やその他の出来事の際は
 - ・その他、審判の打ち合わせにより主審から要請された場合

● グリーンカードの掲示について

※ For PLAYERS の観点

RESPECT

リスペクトにもなるには、審判のレスポンスが重要

全力を尽くす、お互いに助け合う、フェアに競う、仲間を大事にする、サッポウを痛しむ言葉を身覚えてくれる人に感謝していると語じたならば、グリーンカードも示そう。

※グリーンカードとはどのような時に提示するのか・・・具体例

- ・相手チームの選手への悪いやり
- ・審判していないファウルプレーの間の別審判選手
- ・自己申告（ボールが相手陣を侵入時；スローイン、オフサイド、ゴール）
- ・目標となる行動を制止しつづける行為（反復警告を制止する行為）
- ・チーム（スライディングキック等）が試合進行を遅し、審判も苦情も受けずサニタリーの回復を示す
- ・・・など

※グリーンカードも提示する時に注意すること

- ・試合の流れを止めない
- ・審判のレスポンスが重要
- ・記録は必ず示す
- ・審判に示されたのかわかりやすいように
- ・真やジョイスプレーのみを止めるともいえるのもよい